

令和3年度「飼料用米多収日本一」の受賞者の決定について

農林水産省及び一般社団法人日本飼料用米振興協会は、令和3年度「飼料用米多収日本一」を実施し、農林水産大臣賞をはじめ各賞の受賞者を決定しましたので、お知らせします。

1. 「飼料用米多収日本一」の概要

「飼料用米多収日本一」は、生産技術の面から先進的で他の模範となる飼料用米生産者を表彰し、その成果を広く紹介することで、飼料用米生産農家の生産に係る技術水準の向上を図ることを目的として実施しています。この度、審査委員会で審査し、優秀と認められた方々に各賞を授与します。

【表彰区分】

- ・単位収量の部
- ・地域の平均単収からの増収の部

【褒賞区分】

- ・農林水産大臣賞
- ・農産局長賞
- ・全国農業協同組合中央会会長賞
- ・全国農業協同組合連合会会長賞
- ・協同組合日本飼料工業会会長賞
- ・日本農業新聞賞

2. 各賞の受賞者について

令和3年度の受賞者は、以下の通りです。

（単位収量の部）

褒賞	受賞者	都道府県
農林水産大臣賞	小松田 光二	秋田県
農産局長賞	高橋 俊恵	青森県
全国農業協同組合中央会会長賞	加藤 禎行	北海道
全国農業協同組合連合会会長賞	農事組合法人 日の出生産組合 代表理事組合長 廣田 実	北海道
協同組合日本飼料工業会会長賞	農事組合法人 坊沢営農組合 代表理事 長崎 克彦	秋田県
日本農業新聞賞	上田 隆	秋田県

（地域の平均単収からの増収の部）

褒賞	受賞者	都道府県
農林水産大臣賞	坂本 静江	岩手県
農産局長賞	山口 弘則	佐賀県
全国農業協同組合中央会会長賞	増淵 文明	栃木県

全国農業協同組合連合会会長賞	関 富次	秋田県
協同組合日本飼料工業会会長賞	有限会社 アグリ：サポート 代表取締役 立松 國彦	愛知県
日本農業新聞賞	農事組合法人 ふながわ 代表者 由井 久也	富山県

3.表彰状の授与

表彰式は、新型コロナウイルス感染症の感染状況に鑑み、開催を見送ることとし、表彰状は、3月下旬以降、各受賞者に対し授与（手渡し又は郵送）する予定です。

添付資料

令和3年度「飼料用米多収日本一」受賞者の概要
令和3年度「飼料用米多収日本一」審査委員名簿
「飼料用米多収日本一」実施要領

【お問合せ先】
農産局穀物課
担当者：企画班 角谷、日高
代表：03-3502-8111（内線4846）
ダイヤルイン：03-3502-5965

令和３年度「飼料用米多収日本一」受賞者の概要

単位収量の部

(敬称略)

褒賞名	経営体 (団体名・個人名)	住 所	品種	作付面積 (a)	単収 (kg/10a)	受賞理由
農林水産大臣賞	小松田 光二	秋田県 横手市	べこあおば	133	973	地域の平均単収を370.9kg超えて、単収1トンに迫る973kgの実績は、コンテスト史上最高値。より多収を目指し、前年の「秋田63号」よりも稈が短く倒伏しにくい「べこあおば」に品種変更する判断、疎植栽培や施肥等のコスト削減、域内での農機の共同利用、農地中間管理機構の活用による1ha区画圃場における1トン近い多収性実現のモデル性、生産面・経営面・地域連携面の全てにおいて取り組みが高く評価された。
農産局長賞	高橋 俊恵	青森県 五所川原市	ゆたかまる	1,040	852	肥料に関する知識を活用した施肥により、10haを越える面積での多収を実現。施肥等生産面及び流通面のコスト削減、地域での情報発信・情報交換や作付困難者の農地借用による圃場集約等、地域の模範となる取り組みが評価された。
全国農業協同組合中央会会長賞	加藤 禎行	北海道 美唄市	そらゆたか さんさんまる	590	873	大規模経営で、主食用米も複数品種取り組みながら、飼料用米の多収を実現。早晩生が異なる複数品種を導入し、品種特性に応じて移植と直播を組み合わせ、収穫時期も分散、小麦・大豆との輪作と土壌診断に基づく施肥設計等、データに基づく裏付けのある取り組みで、地域の模範として生産技術を地域に還元し、担い手の育成にも積極的に取り組んでいる点が評価された。
全国農業協同組合連合会会長賞	農事組合法人 日の出生産組合 代表理事組合長 廣田 実	北海道 旭川市	そらゆたか	639	835	主食用米、飼料用米、麦、大豆、子実用トウモロコシなど複数品種の作付体系を確立し、水田を高度に利用し、関係機関の信頼を得ながら、地域の中核として農業生産に取組んでいる姿勢、また J A およびホクレンの集荷・販売機能を活用していること等が評価された。
協同組合日本飼料工業会会長賞	農事組合法人 坊沢営農組合 代表理事 長崎 克彦	秋田県 北秋田市	秋田63号	4,029	807	経営面積92haのうち飼料用米40haと大規模でありながら、単収807kgの多収を実現。農薬散布用ドローンを用いたコスト低減の取り組みや、大豆・枝豆の輪作体系等の中で、飼料用米の多収を実現するという、モデル性を有する地域の中核的法人経営体として、評価された。
日本農業新聞賞	上田 隆	秋田県 横手市	秋田63号	516	837	コストアップにはなるが、追肥をして高収量を確保していること、いもち・カメムシ防除をラジコンヘリで行い、飼料用米のほ場をカメムシやいもちなどの温床にしない地域と協調する視点が評価された。

令和３年度「飼料用米多収日本一」受賞者の概要

地域の平均単収からの増収の部

(敬称略)

褒賞名	経営体 (団体名・個人名)	住 所	品種	作付面積 (a)	地域の平均単 収からの増収 (kg/10a)	受賞理由
農林水産大臣賞	坂本 静江	岩手県 盛岡市	つぶゆたか	91	337	肉用牛繁殖経営者が、飼料用米に10年間取り組み、地域の平均単収を58%超える337kgの増収、単収も900kgを超える多収を実現。 自家の牛糞堆肥の活用だけでなく、耕畜連携による鶏糞堆肥の利用、立毛乾燥によるコスト削減、収穫・調製作業の外部化等の取り組みが、高く評価された。
農産局長賞	山口 弘則	佐賀県 杵島郡白石町	ミズホチカラ	408	271	麦わらのすき込み、牛糞堆肥・鶏糞堆肥の散布、効果的な追肥などの土作りを通じて、多収を実現。施肥・防除等の生産管理の省力化、主食用米、飼料用米、麦の輪作体系、耕畜連携、地域農業の振興への取り組みも評価された。
全国農業協同組合中央会会長賞	増淵 文明	栃木県 芳賀郡芳賀町	北陸193号	134	295	品種特性を熟知し、毎日の水管理や追肥のタイミング、病害虫防除のためのこまめな畦畔の草刈り等、基本的な取り組みにより多収を実現。元JA職員で永年にわたり農家指導を行ってきており、今後周辺の農家に対して横展開を図ることが期待され、地域との連携及び生産技術の普及・啓発という点も評価された。
全国農業協同組合連合会会長賞	関 富次	秋田県 鹿角市	ふくひびき	103	258	耕畜連携・循環型農業に取り組むとともに、J A 事業をうまく活用しながら単収の向上を図っていること、またJAを通じ系統配合飼料会社の国産飼料原料の安定調達に貢献していること等が評価された。
協同組合日本飼料工業会会長賞	有限会社 アグリ：サポート 代表取締役 立松 國彦	愛知県 海部郡飛島村	もみゆたか	877	226	農地中間管理機構の活用による規模拡大に意欲的な点や、小麦・大豆との輪作体系の中で、飼料用米の多収を実現するという、モデル性を有する地域の中核的法人経営体として、評価された。
日本農業新聞賞	農事組合法人 ふながわ 代表者 由井 久也	富山県 下新川郡朝日町	やまだわら	471	226	主食用米、飼料用米、大豆のブロックブロックローテーションを確立し、水田の高度利用を行い、スマート農業の積極的導入等により生産費の低減に取り組み、地域の中核的な担い手として、農業生産のみならず、人材育成や観光資源開発などに積極的に取り組んでいる点が評価された。

令和３年度 「飼料用米多収日本一」 審査委員名簿

	所 属 機 関 名	役 職 名	氏 名
審査委員長	国立研究開発法人農業・食品産業技術研究機構 九州沖縄農業研究センター 暖地水田輪作研究領域 水田高度利用グループ	グループ長補佐	中野 洋
	東京大学名誉教授	東京大学名誉教授	谷口 信和
	株式会社トマル	代表取締役会長	都丸 高志
	生活クラブ神奈川	副理事長 (連合消費委員長)	大久保 明美
	全国農業協同組合中央会	農政部長	生部 誠治
	全国農業協同組合連合会	米穀生産集荷対策部長	金森 正幸
	協同組合 日本飼料工業会	専務理事	高橋 洋
	日本農業新聞 編集局 営農生活部	部 長	岡田 健治
	農林水産省 農産局 穀物課	課長補佐	角谷 磨美

「飼料用米多収日本一」実施要領

〔平成 28 年 4 月 4 日〕
〔27 政 統 第 848 号〕

最終改正 令和 3 年 6 月 3 日

1 趣 旨

飼料用米については、食料・農業・農村基本計画（令和 2 年 3 月 31 日閣議決定）に定める生産努力目標の確実な達成及び「日本再興戦略」改訂 2015（平成 27 年 6 月 30 日閣議決定）に定める、10 年後に担い手の 60kg 当たりの生産コストを 5 割程度低減させるという K P I の実現に向け、生産性を向上させるための取組が重要である。

これらの目標実現に向けて、飼料用米生産農家の生産に係る技術水準の向上を推進するため、「飼料用米多収日本一」を開催し、生産技術の面から先進的で他の模範となる経営体を表彰し、その成果を広く紹介する。

2 実施主体

本事業は、一般社団法人日本飼料用米振興協会及び農林水産省の共催により行う。

また、全国農業協同組合中央会、全国農業協同組合連合会及び協同組合日本飼料工業会が後援することとする。

3 事務局

事務局は、一般社団法人日本飼料用米振興協会に置くこととする。

4 対象地域

全都道府県を対象とする。

5 表彰区分

表彰区分に次の 2 部門を設けるものとする。

- （１）単位収量の部
- （２）地域の平均単収からの増収の部

6 参加資格

次の要件を全て満たす経営体であること

- （１）経営所得安定対策等実施要綱（平成 23 年 4 月 1 日付け 22 経営第 7133 号農林水産事務次官依命通知。以下「実施要綱」という。）Ⅳの第 2 の 3 の交付対象者あるいはそれに相当する取組を行う者であって、飼料用米の生産面積がおおむね 1 ha 以上（※１）であること。
- （２）日頃から生産技術の改善に努め、飼料用米の単収が地域の平均より相当程度高くな

ることが見込まれること。

- (3) 生産コストの低減や規模拡大など、生産性の高い経営に取り組んでいること。
- (4) 区分管理方式による出荷(※2)を行っており、実施要綱様式第11-2等の根拠書類によって生産面積及び出荷数量の確認を行うことができること。
- (5) 原則として過去3年以内に「飼料用米多収日本一」において農林水産大臣賞を受賞していないこと。

※1 生産面積については、飼料用米種子面積を除く

※2 需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領(平成26年4月1日付け25生産第3578号農林水産省生産局長通知。以下「推進要領」という。)別紙2の第3に規定する出荷方式

7 参加申込み及び必要書類の提出

- (1) 参加を希望する経営体は、生産年の募集期間中に参加申込書(別記様式1)を、各地方農政局(北海道にあっては北海道農政事務所、沖縄県にあっては内閣府沖縄総合事務局)に設置する飼料用米多収日本一ブロック事務局(以下「ブロック事務局」という。)(別紙1)へ提出すること。
- (2) ブロック事務局は、提出のあった参加申込書(別記様式1)を取りまとめ、参加資格を満たしているものについて、生産年の募集期間終了後1か月以内に事務局に報告すること。
- (3) 参加申込みを行った経営体は、生産数量が確定次第速やかに、推進要領別紙様式第4-13号に記載した生産面積及び収穫量等を基に、生産数量報告書(別記様式2)を作成し、推進要領別紙様式第4-13号等の根拠書類の写しとともにブロック事務局に提出すること。
- (4) ブロック事務局は、提出された生産数量報告書(別記様式2)を取りまとめ、事務局が定める日までに事務局に報告すること。

8 審査

(1) 審査委員会

飼料用米多収日本一の審査を実施するため、事務局が委嘱した学識経験者等をもって構成する審査委員会を設置する。

(2) 審査項目

審査は、次に定める事項について、生産技術の向上あるいは生産コストの低減等生産性の高い経営に取り組んでおり、先進的で他の経営体の模範となり得るものであるか否かを総合的に判断するという視点で進めるものとする。

- ① 申請者が自ら経営する水田に作付けした全ての飼料用米の10a当たり収量(※3)
- ② 生産コスト低減の取組
- ③ その他先進的で他の経営体の模範となり得る取組

※3 「10a 当たり収量」とは、推進要領別紙様式第4-13号に記載された生産面積

及び収穫量から算出されるものをいう

(3) 審査方法

審査委員会は、参加申込のあった出品調査書に記載された内容等に基づいて、8の(2)の審査項目に係る審査を行うとともに、必要に応じてブロック事務局による現地調査を行い、総合的に判断して受賞者を決定するものとする。

9 褒賞の区分

褒賞の区分は次のとおりとする。

- ・ 農林水産大臣賞
- ・ 政策統括官賞
- ・ 全国農業協同組合中央会会長賞
- ・ 全国農業協同組合連合会会長賞
- ・ 協同組合日本飼料工業会会長賞
- ・ 日本農業新聞賞

10 表彰

- (1) 参加申込みのあった経営体のうち、審査委員会で審査し、特に優秀と認められた経営体に対し、農林水産大臣賞を授与する（副賞含む）。
- (2) 参加申込みのあった経営体のうち、優秀と認められた経営体に対し、政策統括官賞、全国農業協同組合中央会会長賞、全国農業協同組合連合会会長賞、協同組合日本飼料工業会会長賞、日本農業新聞賞のいずれかを授与する（副賞含む）。
- (3) 経営主の親族又は後継者であって、飼料用米生産への貢献度が高いと認められる者は、経営主と連名で表彰することができる。

11 日程は、毎年度別途定める。

12 審査結果の公表と表彰事例の普及

事務局は、審査結果を公表するとともに、表彰式を開催する。また、飼料用米の生産拡大の推進に資するため、当該表彰における経営の取組紹介等の情報について、農林水産省ホームページ等に掲載するなど、広く活用するものとする。

13 個人情報の取扱い

参加者から提出された参加申込書等に記載された個人情報は、当該表彰及びブロック事務局、都道府県等が当該表彰の一環で行う表彰並びに飼料用米の生産拡大の推進に関連する用途以外に使用しない。

別紙1

飼料用米多収日本一 ブロック事務局一覧

ブロック		事務局	郵便番号	住所、電話番号
北海道	北海道	北海道農政事務所 生産経営産業部生産支援課	064-8518	札幌市中央区南22条西6-2-22 TEL 011-330-8807
東北	青森県 岩手県 宮城県 秋田県 山形県 福島県	東北農政局生産部生産振興課	980-0014	仙台市青葉区本町3-3-1 TEL 022-221-6169
関東	茨城県 栃木県 群馬県 埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県 山梨県 長野県 静岡県	関東農政局生産部生産振興課	330-9722	さいたま市中央区新都心2-1 (さいたま新都心合同庁舎2号館) TEL 048-740-0117
北陸	新潟県 富山県 石川県 福井県	北陸農政局生産部生産振興課	920-8566	金沢市広坂2-2-60 (金沢広坂合同庁舎) TEL 076-232-4302
東海	岐阜県 愛知県 三重県	東海農政局生産部生産振興課	460-8516	名古屋市中区三の丸1-2-2 TEL 052-223-4622
近畿	滋賀県 京都府 大阪府 兵庫県 奈良県 和歌山県	近畿農政局生産部生産振興課	602-8054	京都市上京区西洞院通下長者町下ル丁子風呂町 (京都農林水産総合庁舎) TEL 075-414-9020
中国 四国	鳥取県 島根県 岡山県 広島県 山口県 徳島県 香川県 愛媛県 高知県	中国四国農政局生産部生産振興課	700-8532	岡山市北区下石井1-4-1 (岡山第2合同庁舎) TEL 086-224-9411
九州	福岡県 佐賀県 長崎県 熊本県 大分県 宮崎県 鹿児島県	九州農政局生産部生産振興課	860-8527	熊本市西区春日2丁目10番1号 (熊本地方合同庁舎) TEL 096-300-6212
沖縄	沖縄県	内閣府沖縄総合事務局 農林水産部生産振興課	900-0006	那覇市おもろまち2-1-1 (那覇第2地方合同庁舎2号館) TEL 098-866-1653

別記様式 1

「飼料用米多収日本一」参加申込書

令和 年 月 日

飼料用米多収日本一〇〇ブロック事務局

氏名（ふりがな）

（集団の場合は集団名及び代表者名）

住所

電話番号

実施要領 7 の（1）に基づき、別添の出品調査書を添えて、「飼料用米多収日本一」に申し込みます。

「飼料用米多収日本一」 出品調査書

【各項目の記載は、地域再生協議会等へ提出の営農計画書等を元に記載願います】

1 当年産の経営概要

(1)氏名(集団名:代表者名)	(ふりがな)
(2)品種名	※複数の品種を作付けしている場合は、以下項目の記載は合計値を記載してください。
(3)飼料用米作付面積 a	
(経営全体の全水稻作付面積) a	
(全経営面積) a	

※飼料用米作付面積は、「営農計画書等」に記載された面積(飼料用米種子面積を除く)

2 当年産の収量向上の取組(該当に☑を入れてください。複数選択可)

(1)品種の選択理由		☐ :多収が期待できる ☐ :耐倒伏性 ☐ :耐冷性 ☐ :耐病性 ☐ :難脱粒性 ☐ :栽培し易い ☐ :作期分散 ☐ :地域適正 ☐ :需要者からの要望 ☐ :その他()
(2)施肥	①土壌改良資材・基肥	☐ :稲・麦わらすき込み ☐ :緑肥 ☐ :リン酸資材 ☐ :ケイ酸資材 ☐ :塩基(石灰・苦土・加里)資材 ☐ :鶏ふん堆肥 ☐ :牛ふん堆肥 ☐ :豚ふん堆肥 ☐ :育苗箱全量施肥 ☐ :主食用米一発肥料 ☐ :多収品種専用一発肥料 ☐ :化成肥料 ☐ :高度化成肥料 ☐ :BB肥料 ☐ :液状複合肥料 ☐ :その他()
	②追肥	☐ :穂肥 ☐ :実肥 ☐ :なし ☐ :その他()

3 当年産のコスト低減の取組(該当に☑を入れてください。複数選択可)

(1)輪作	①輪作の実施	☐ :あり ☐ :なし
	②輪作ありの場合 (品目名)	(前々年産) 品目名()
		(前年産) 品目名()
(2)育苗・播種	①播種形式 (移植・直播等)	☐ :移植 ☐ :乾田直播 ☐ :湛水直播
	②育苗・移植のコスト低減	☐ :プール育苗 ☐ :密播(密苗) ☐ :資材軽量化 ☐ :疎植 ☐ :その他()
(3)施肥	①耕畜連携による堆肥利用	☐ :あり ☐ :なし
	②基肥等の施肥方法	☐ :田植え前全層施肥 ☐ :田植え同時側条施肥 ☐ :育苗箱施肥 ☐ :その他()

	③追肥の施肥方法	☐ :散布機 ☐ :流し込み ☐ :無人ヘリコプター ☐ :ドローン ☐ :その他()
(4)病虫害防除方法		☐ :育苗箱施用 ☐ :田植え同時側条施用 ☐ :無人ヘリコプター ☐ :ドローン ☐ :その他()
(5)乾燥・調製コスト低減	①乾燥コスト低減	☐ :立毛乾燥させている ☐ :立毛乾燥させていない
	②乾燥・調製 (ライスセンターやカントリーエレベーター等の共同施設利用等)	☐ :主食用と共通のライスセンター・カントリーエレベーター ☐ :飼料用米専用のライスセンター・カントリーエレベーター ☐ :自己所有 ☐ :その他()
(6)出荷方法		☐ :もみ ☐ :玄米
		☐ :フレコン ☐ :バラ ☐ :紙袋 ☐ :その他()
(7)規模拡大等		☐ :集積(作付面積増)している ☐ :団地化している

4 飼料用米の販売先等(該当に☑を入れてください。)

※販売先が複数の場合、最も出荷数量の多い1社分を記入してください。

(1)販売先名	
(2)流通区分	☐ :県外流通 ☐ :県内流通 ☐ :自家利用 ☐ :不明

5 飼料用米の販売価格等(実需者と直接取引を行う場合で、販売価格等を把握できる場合のみ回答してください。)

(該当に☑を入れてください。)

※販売先が複数の場合、最も出荷数量の多い1社分を記入してください。

(1)引渡方法	☐ :生産者持込 ☐ :実需者等引取
(2)輸送費負担	☐ :生産者負担 ☐ :実需者等負担
(3)農産物検査(検査料負担)	☐ :生産者負担 ☐ :実需者等負担 ☐ :未受検
(4)販売価格(品代) (可能な範囲で記入してください)	品代()円/kg
	☐ :輸送料・手数料等差し引き前の価格 ☐ :輸送料・手数料等差し引き後の価格
(5)輸送料・手数料等 (可能な範囲で記入してください)	輸送料()円/kg
	手数料()円/kg
	その他(〇〇料:)円/kg

別記様式 2

「飼料用米多収日本一」生産数量報告書

令和 年 月 日

飼料用米多収日本一 ○○ブロック事務局 殿

氏名（ふりがな）

（集団の場合は集団名及び代表者名）

住所

電話番号

実施要領 7 の（3）に基づき、別添の生産数量報告書を添えて、提出します。

「飼料用米多収日本一」生産数量報告書

【各項目の記載は、地域再生協議会等に提出している営農計画書等を元に記載願います】

1 当年産の経営概要

(1)氏名(集団名:代表者名)	(ふりがな)
(2)品種名	※複数の品種を作付けしている場合は、以下項目の記載は合計値を記載してください。
(3)飼料用米作付面積(※1) a	
(経営全体の全水稻作付面積) a	
(全経営面積) a	

※1 需要に応じた米生産・販売の推進に関する要領別紙様式第4－13号等の生産面積
(飼料用米種子面積を除く)

2 生産数量

全収穫量(※2) kg	
・10a当たりの収量(a)	
(地域の基準単収(b))	
(地域の作況指数(c))	
・基準単収との比較 (a - (b×c÷100))	

※2 需要に応じた米生産・販売の推進に関する要領別紙様式第4－13号等の収穫量(飼料用米種子の収量を除く)

3 その他

(1)収量の増減要因 (収量向上に効果の高かった取組や、収量が減少した場合はその要因) (該当に☑を入れてください。複数選択可)	【収量向上に効果のあった取組】 □:品種 □:施肥 □:天候 □:病虫害防除 □:その他()
	【収量減の要因】 □:品種 □:施肥 □:天候 □:病虫害被害 □:その他()
(2)生産コスト低減の効果 (コスト低減に最も効果が高かった取組を記載)	

添付資料: 需要に応じた米生産・販売の推進に関する要領別紙様式第4－13号等の根拠書類の写し

- 4 飼料用米の販売先等(該当に☑を入れてください。)
※参加申込時点から変更がある場合は、記入してください

(1)販売先名	
(2)流通区分	☐ : 県外流通 ☐ : 県内流通 ☐ : 自家利用 ☐ : 不明

- 5 飼料用米の販売価格等(実需者と直接取引を行う場合で、販売価格等を把握できる場合のみ回答してください。)(該当に☑を入れてください。)
※参加申込時点から変更がある場合は、記入してください

(1)引渡方法	☐ : 生産者持込 ☐ : 実需者等引取
(2)輸送費負担	☐ : 生産者負担 ☐ : 実需者等負担
(3)農産物検査(検査料負担)	☐ : 生産者負担 ☐ : 実需者等負担 ☐ : 未受検
(4)販売価格(品代) (可能な範囲で記入してください)	品代()円/kg
	☐ : 輸送料・手数料等差し引き前の価格 ☐ : 輸送料・手数料等差し引き後の価格
(5)輸送料・手数料等 (可能な範囲で記入してください)	輸送料()円/kg
	手数料()円/kg
	その他(〇〇料:)円/kg